

## 公の施設目標管理型評価書（新潟市北区文化会館）

<b>施設名</b>	新潟市北区文化会館		
<b>管理者名</b>	NKS・ハビスカとよさか共同事業体	<b>指定期間</b>	令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日
<b>担当課</b>	北区産業振興課		
<b>所在地</b>	新潟市北区東栄町1丁目1番5号		
<b>根拠法令</b>	—		
<b>設置条例</b>	新潟市北区文化会館条例		
<b>施設概要</b>	建築年 平成22年 敷地面積 24,520平方メートル 建築面積 4,427平方メートル 延床面積 4,708平方メートル 鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造・鉄筋コンクリート造）2階建 ホール（収容人員549人。ほか身障者スペース8席）、練習室4、楽屋3、保育室、会議室 他 敷地内施設 駐車場（314台）、園路、広場、植樹帯など		

施設設置目的
音楽、演劇等の鑑賞又は創作活動の機会を提供し、もって市民の芸術文化活動の発展に資するため、新潟市北区文化会館を設置する。
管理・運営に関する基本理念、方針等
(1) 文化事業 「市民の芸術文化活動の発展」という設置目的を果たすため、常に新鮮でかつ安定した文化事業の運営に努める。 <b>【重点事項】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・優れた音楽、演劇等の舞台芸術の鑑賞機会の提供</li> <li>・創作活動の機会の提供と参加の促進</li> <li>・地域に根ざした文化の発信</li> <li>・文化を通じたひとづくり・まちづくりによる賑わいの創出</li> </ul> (2) 施設運営 貸館に関する業務、ホール業務及び館内業務を行う。 <b>【重点事項】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貸館に関する業務の円滑化を図るため、利用希望者の使用条件等を勘案し、公の施設として公平性に配慮しつつ必要に応じた調整</li> <li>・舞台機構設備、舞台照明設備、舞台音響設備等及び備品の日常点検並びに管理を行うとともに、それらの操作に精通し、利用者に対し安全で、高度なサービスを提供</li> <li>・来館者の満足度を向上するため、様々なサービスの提供</li> </ul> (3) 施設管理 施設設備や舞台設備などの施設管理については、日常点検を行うなど、常に良好な状態及び性能を維持するとともに、効果的かつ効率的な管理を行う。 <b>【重点事項】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設設備等の保守管理業務</li> <li>・清掃業務等の環境維持管理業務</li> <li>・効果的かつ効率的な管理運営執行体制の確保</li> <li>・専門的職員の配置</li> <li>・適切な執務体制</li> <li>・人材育成の取組</li> </ul>

令和2年度 目標管理型評価書

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市 民	情報発信	情報誌の発行 年6回以上	・HP随時イベント情報更新 ・催事案内情報誌 ・SNS開設(Twitter・インスタグラム)	A	指標を大幅に上回っている。
	基準稼働率の達成	ホール・練習室等の稼働率 年間65%以上	ホール・練習室等の稼働率58%	C	新型コロナウイルス感染症の影響により、文化事業や市民利用の中止が相次いだ。
	各種サービス別満足度	利用者アンケートで「満足」が90%以上	施設評価99%スタッフ評価100%	A	高い満足度を維持している。
	苦情・要望に対する対応	苦情・要望には7営業日以内に回答	関係機関と連絡を取りながら即日から7営業日以内に対応	B	
	文化事業の実施	管理・運営に関する基本理念、方針等(1)文化事業の【重点事項】に記載の4項目に合致する指定管理文化事業を以下のとおり実施 事業数：12事業以上 事業費(支出ベース)：23,100千円以上	鑑賞事業7事業＋創造事業2事業＋普及育成事業1事業＋交流発信事業9事業＝合計年間19事業 事業費(支出ベース)21,845千円	C	新型コロナウイルス感染症拡大による事業中止により目標の事業費に達しなかった。
財 務	施設管理運営経費の削減	管理運営経費を年間79,505千円以下	契約電力会社を変更するなど、積極的に経費の削減に努めた。新型コロナウイルス流行拡大に伴う会館利用者の減少等もあり、光熱水費の一定の削減に成功した。収支を勘案した上で、経年劣化対応修繕・修理や備品更新等に努めた。市民サービス向上・安全安心に投資し、管理運営経費を79,497千円に収めることができた。しかし、来館者の減少に伴い自主事業充当額も減少し254千円の赤字となった。	B	

業 務	適正な財政運営	収支計画に基づく収入の確保及び経費の執行	収入予算107,637千円。 収入決算101,366千円。 支出予算107,637千円。 支出決算101,343千円。 収入実績は、新型コロナウイルス流行拡大に伴う文化事業公演中止によるチケット収入減が大きく影響し6,271千円の減収となったが、公演経費も減ったことから、総額の収支差は23千円の赤字で収めることができた。	B	
	安全管理責任者の配置と安全確保体制の確立	常時、危機管理責任者を配置し、防災・避難訓練を年2回以上実施	1/23、3/30の2回防災避難訓練を実施。日常的な危機管理意識訓練を励行させて、消防機関と情報交換するなど、適切な危機管理を実践している。	B	
	事件・事故発生時の対応の適切さ	迅速な対応と、再発防止策の策定	6/28三角コーンバー破損。2/11漏電警報発報。2/13、3/20地震発生等それぞれの事件・事故等に迅速に対応した。	B	
	業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	安全、節約等考慮しつつ、その他業務仕様書等に定める事項を遵守し、市民視点で仕様書に定められた事項以上の業務執行を心がけ実施した。	B	
人 材	職員研修の実施	外部・内部研修の実施 1人あたり2回以上	毎朝礼時のOJTの実施はもちろんの事、外部研修会への参加を計画していたが、新型コロナウイルス流行拡大に伴い各種研修会がほぼ中止となり、例年のような参加実績には至らなかった。	C	
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	遵守に努め、労務環境関係の充実に努めた。適正な労務管理改善を図り、労働関係法令を遵守した。	B	

## 指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

令和2年度の文化事業を一言で表せば、新型コロナで始まり、新型コロナで幕を閉じた一年であった。鑑賞・創造・普及育成・交流発信、合わせて39事業を予定していたが、このうちの20事業を中止せざるを得なかったのは、誠に残念であった。そのような状況の中で、市民劇「椿姫」を年度末の3月に上演できたのは、大きな収穫であった。12月下旬に一般オーディションを行い、公演直前まで限られた回数の稽古であったが、演出の笹部博司さんらの下で出演者は鍛えられ、その成長ぶりは目を見張るものがあった。スタッフ・館職員のバックアップも欠かせなかった。マスコミ向けのプレスリリースの作成、電波・紙媒体への売り込みなども功を奏し、入場者増につながった。地元の出演者と観客、そしてスタッフが一体となった公演が実現できた。一方で、課題もある。2015年に発足した「北区ジュニア吹奏楽団」は小学生から大学生、専門学校生まで、幅広い年齢層で構成されており、新潟市内の劇場が運営する唯一の楽団だが、近年団員数の減少に悩んでいる。そこで、楽団の認知度アップと団員増を目的に、楽団講師陣による初のコンサートを11月に開催した。事業予算の1割をかけて運営する楽団だけに、団員数を増やすことは喫緊の課題。充実した講師陣や恵まれた施設をアピールし、次年度の重点施策の一つとしても取り組んでいく。

次に、施設運営においては、貸館の利用者が4月～6月に特に大きく落ち込み、その後もキャンセルが相次いだことから、利用件数率は前年比65%という結果であった。しかしながら、モニタリング集計①にあるように、施設についての5段階評価で、利用者の93%から「とても満足」との評価をいただいた。更なる高みを目指したい。また、施設管理においては、施設の老朽化が進んでおり、修繕を余儀なくされるケースが増えてきている。日常点検でより目を光らせ、早めの処置を施せるよう市のバックアップをお願いしたい。清掃業務においては、新型コロナウイルス感染症予防のため、諸室使用後の消毒作業を徹底した。次年度も利用者が安心して使用できるように取り組んでいく。

## 総合評価(所見)

- ・新型コロナウイルス感染症の流行により、稼働率や文化事業の実施については目標が達成できなかった。各種感染拡大防止に関するガイドラインが整備されてからは、適切に事業を実施することができた。
- ・地元の豊栄商工会議所青年部と共催し、イルミネーション事業を開催するなど、新しい試みも行い、地域の賑わいや文化の発展に貢献した。
- ・今後も利用人数の制限などで厳しい運営を迫られるが、変化する市民ニーズや新型コロナウイルス感染症などの社会情勢を把握し、新しい生活様式に即した芸術文化活動の発展に貢献していただきたい。